

**使い勝手のよさや収納力の高さが劇中で活躍
レトロで落ち着いた住まいにぴったりなキッチン「リフィット」が
フジテレビ系ドラマ「小さい頃は、神様がいて」のセットに採用**

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）のシステムキッチン「リフィット」が現在放送中のフジテレビ系ドラマ「小さい頃は、神様がいて」のセットとして採用されました。



（小倉家のシステムキッチン「リフィット」）

フジテレビ系ドラマ「小さい頃は、神様がいて」は、三階建てのレトロマンションに住む、三家族の住人たちの物語を描いたホームコメディです。今回、主人公・小倉渉が暮らす自宅のセットとして、システムキッチン「リフィット」が採用されました。

ドラマの舞台は東京郊外のレトロなマンション。キッチンのシーンも多く描かれることから、実際に使い勝手がよく、収納力の高い「リフィット」をご採用いただく運びとなりました。デザイン面でも、木目調の扉柄「チークグレイージュ」が落ち着いた住まいの雰囲気演出します。

システムキッチン「リフィット」の特徴は、化粧ボードのキャビネット底面に、当社独自の素材を使用した「ホーロー底板」を採用した独自のハイブリッドホーローキャビネット。国内キッチンシェア No.1 のタカラスタンダードの商品の中で最も選ばれているキャビネットで、一般的なキャビネットに比べて、高い機能性と耐久性を誇ります。毎週木曜日夜 10 時からの放送で劇中に登場していますので、ぜひご覧ください。

タカラスタンダードは、独自の技術を生かした商品ラインアップで、これからもより多くの人により心地よい暮らしを楽しんでいただけるよう商品を展開してまいります。

【ご参考】システムキッチン「リフィット」 https://www.takara-standard.co.jp/product/system_kitchen/refit/

<タカラスタンダードとは>

1912 年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

【設立：1912 年 5 月 30 日（創業 113 年） / 売上高<連結>：2,433 億円（2024 年度） / 従業員数<連結>：6,560 名（2025 年 3 月末時点）】